

23回定演紹介の 記事です



(13)

文化

1997年(平成9年)6月20日

金曜日

不申

案

私の見つけた
演奏会

演奏会

白石 隆生

横浜シティ・フィルハーモニック第二十三回定期演奏会(5月25日、グリーンホール相模大野)



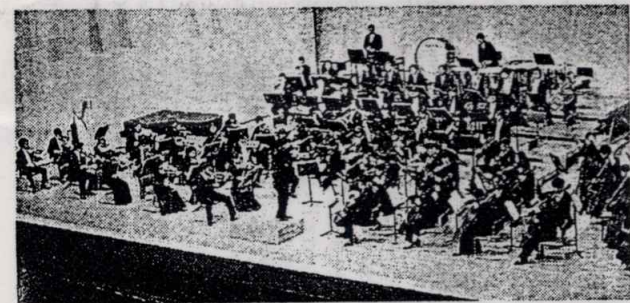
人気が高い歌手。パトリックは指揮者として知られるウベ・タイマー(ピアノ)と、フォルクスオーパー管弦楽団の四人。

このアマチュア・オーケストラ(児玉章裕団長は一九八〇年に創立され、現在、団員は約八十人で、音大の出身者は皆無である。これに二十人の賛助団員が活動に加わり、弦と管に専門のトレーナーを迎えて定期的に練習に励んでいる。ラベルの「古風なメヌエット」、

姿勢と熱意に好感

演奏だっ
た。

組曲「アラバチアの春」、ベートーベンの「交響曲第七番」という意欲的な内容だった。常任指揮者の鎌田由紀夫はアマチュアの鎌田の純粋さともろさを熟知しながら、丁寧な音楽の読みと正統的な音楽づくりを心がけていて、好感がもてた。オケも一生懸命にこれにこたえていた。プロの前半では基礎的な面での欠陥が目立ってしまったが、ベートーベンでは団員たちの積極性と熱意が感じられた。



積極性と熱意の感じられた横浜シティ・フィルの定期演奏会 =グリーンホール相模大野

アンリスト・指揮者。ウィーン・フィルクスターオーパー副指揮者を歴任。室内楽や歌曲で国内外に活動。著作や訳書がある。藤沢市在住。

ンサンブルを重視した小規模な作品で、各楽器群のバランスや合奏の妙味などを経験しながら、音楽の喜びを享受し合えたら素晴らしいと思う。メラニー・ホリディとウィーン・ビーダーマイ